

■ 変わりたいのに変わらない、歯がゆい人生

修正： 2016.05.01

投稿： 2016.05.01



● 変わりたいのに変わらない、歯がゆい人生①

文章を書くことは恥をかくことだと言われています。

確かに、昔の自分の文章を読み返してみると、
よくこんな文章を書いたものだとなと、
恥ずかしい思いがします(*´Д`)
そういうものなのでしょう…。
そして、そうやって誰もが成長していくのでしょう。

//-----

私たちは、何かと、「**変わりたい**」
という欲望や期待をもって生きています。
自己啓発系の書籍や Web サイトでは、

「その気になれば自分を変えられる」
「やろうと思えば未来は変えられる」
「やる気になれば人生は変えられる」

と、何かと「**変わる**」ということに
焦点を当てて語られております。それほど、人々は、
「**変わる**」ということを望んでいるのだと分かります。

「**何とすることでしょう！**」でお馴染みの
テレビ番組“大改造!!劇的ビフォーアフター”が
あれほどまでに受け入れられるのも、
“ビフォー”と“アフター”の変貌ぶりが「劇的」だから
でありましょう。

「あれほど使いにくかった〇〇が」（ビフォー）
「何とすることでしょう！」（わくわくどきどき）
「〇〇に様変わりしたではありませんか♪」（アフター）

と、視聴者は「劇的」な変化に心躍らせます。

これがもし、「**ビフォービフォー**」であれば、
どうでしょうか？

「あれほど使いにくかった〇〇が」（ビフォー）

「何と云うことでしょう！」（わくわくどきどき）
「結局、〇〇のままではありませんか♪」（ビフォー）

…。
誰もそんなテレビ番組に興味などもちません…。

かといって、逆に「アフターアフター」であれば、
「何？単なる自慢？」と疎ましく思われておしまい、です。

「ビフォー」からの「アフター」であるからこそ、
人々はその「劇的な変化（ギャップ）」に感動を覚えるのです。

（続）

//=====//

● 変わりたいのに変わらない、歯がゆい人生②

テレビ番組「大改造!!劇的ビフォーアフター」が
これほどまでに受け入れられるのも、
「ビフォー」から「アフター」への変化が、
文字通り「劇的だから」ということをお話しました。

これがもし「**ビフォービフォー**」なのであれば、
誰もそんなテレビ番組に興味などもちません。

しかしながら、**私たちの人生は**
「ビフォービフォー」の連続です。

「モテない人」は、モテる人の真似をしてみても、
なかなか「モテるようになりません」し、

「貧乏な人」は、ちょっとやそつと頑張ってみても、
やはり「貧乏なまま」です。

「いい加減、うんざりしてきた、この人生」とはち切れ、
「そろそろ本気になって自分を変えていきたい！」と願えど、
なぜか「ビフォービフォー」のままです。

自分を変えようと努力すればするほど、
「自分を変えるのがこれほどまでに難しいとは…」
と思い知らされます。

「どうせ無理、今さら努力したところで…」と、
自分を変える努力を放棄すれば、後は
「ビフォービフォー」な人生が続くことになります。

「そんなのは嫌だ！」と、お金を払ってセミナーに参加してみても、
自分を変えるための本を読んでみても、自分探しの旅をしてみても、やはり、
「ビフォービフォー」です。

しかし、**そんな変わらない自分とは裏腹に、
社会はどんどん変わっていきます**から、気がつけば時代に取り残されてしまい、
「**あー昔はヨカッタナー**」と嘆き、**老人扱いされたあげくにこの世を去る、**
というのが人生のオチなののでしょうか。

(続)

//=====//

● 変わりたいのに変わらない、歯がゆい人生③

「自分が変われば周りも変わる」と言われています。

しかし、**自分を変えようとすればするほどに、**
自分を変えることが如何に難しいか、思い知らされることになります。

毎日1時間は本を読むと決めても、すぐに面倒になる。
モテる人に憧れ、明るく爽やかな人を目指すも、なぜか上手くいかない。
だらけきった生活習慣を改めたく、毎朝早起きしようとするも、続かない。
…。

そうして、自分では何も変えられないとなれば、徐々に、
「**自分ではなく周りが変わっていけばいい**」と考えるようになり、
「早く誰か何とかしてくれ！」と他人任せになりがちです。

経済状況が悪化すれば「誰か何とかしろ！」と言い、
失業率が上がればこれまた「誰か何とかしろ！」と言います。
そんな停滞していた状況だったからでしょうか、

「**Change!**」の合言葉で国民は熱狂し、
バラク・オバマ氏は、黒人初のアメリカ大統領に選ばれました。

「歴史的なことだ！」
「これほど強く頼もしいリーダーが現れるとは！」
「変わっていこう！」

と、「**変わる**」という期待に明るい未来を夢見ました。
わくわく、ドキドキ、…、のはずでしたが、
数ヵ月、数年が経って、夢が覚めるときがきます。

「結局、あれから、何一つ変わってねーじゃねーか」と、
国民からは「期待外れ」の声がちらほらと上げておりました。
(それでも再当選を果たしました)

そもそも、政府が政策を実施して、
国民一人一人が「ありがたい」と感じるほど、
世の中が「劇的に変わる」などということは、まずありません。

自分で自分自身を変えられない以上、
誰かに頼りたくなるのも至極当然の流れですが、
どんなに強いリーダが現れたとしても、
自分の日常は何一つ変わらないのです。

(続)

//=====//

● 変わりたいのに変わらない、歯がゆい人生④

「変わらない、変りたいのに、変わらない」

ということについてお話をまいりました。

思い通りにならないことに苦しみを感じるのが人間ですから、
「変わりたい」のに「変わらない」のは、苦しみそのものでありましょう。

以前、何気なく見ていたテレビ番組で、受験勉強に励む高校生に
「大学生ってどんなイメージですか？」と質問されており、
その回答が印象に残りました。

高校生（男）「うーん、噴水のそばのベンチで、
独り静かに本を読んでいたら、他学部の女の子が声をかけてきて、
そのまま恋に発展していく感じですかね～(*´▽`*)」

何とも夢のある回答です。これに対して、

大学生（男）「これまで通り、ありふれた毎日の繰り返しでした。
そして、気づいたときにはもう就職活動の時期で、
何かと大変だったことを覚えています。(*´Д`)」

と現実が語られておりました。

「高校デビュー」「大学デビュー」という言葉もあります。

「新しい環境では自分のことを知っている人はいない、
ならば、これまでとは違う自分でいきたい!!(^^)!!」

と、これまでとは真逆の自分を演じようとはしますが、
無理に頑張っても、理想の友人や恋人に恵まれることはなく、
仲良くなれるのは、やはりこれまでと似た人たちばかりです。

大学に入学しても、会社に就職しても、
劇的に人生が変わることはありません。

結局、我々は、「**変わりたくても思うように変わらない**」現実の中で、
幸せを噛みしめて生きていかなければなりません。

(続)

//=====//

● 変わりたいのに変わらない、歯がゆい人生⑤

人の心はコロコロ変わると言われています。
にも関わらず、努力しても一向に
理想の自分へと変わらないことに悩み苦しんでいるのが人間です。

「**変わらない、変わりたくても、変わらない**」

宇宙人もいなければ超能力者もない、
代わり映えのない「いつも通り」な人生に
停滞感すら感じさせられます。だからでしょうか、

私たちは、心の奥底で、

「環境が変われば、自分も劇的に変わっていける。

まだ見ぬ真の自分が姿を現すぞぉ～！(´∀´)」と、

いつの日か目覚めるときがくることを、どこことなく願っております。

毎年4月になれば入学の時期になり、

「いっちなんせーいに、なったーら～♪

いっちなんせーいに、なったーら～♪」

と毎年恒例の歌が聞こえてきます。

これも「変わっていきたい」という人間の心の現れなのでしょう。

「今は友達100人なんていないけど、もし、小学校に入学し

小学生になれば、すぐにでも友達100人くらいできるんだ。

今までとは違うんだ。きっと変わっていけるんだ！(;・∀・)」と、

「変わる」ことへの期待が感じられます。

話が飛びますが、スピリチュアルで、

潜在的なパワーとか、波動とか、霊格とか、いろいろと語られておりますが、

よくよく考えてみれば、あれも、人間の

「変わりたい」という変化を切望する様が見てとれます。

「あなたは元々、霊格の高い人間です。

しかし、あなたが身をおいている環境が、

あなたの波動と一致していないせいで、

本来のあなたが目覚められないでいるのです！(￣Д￣；；」

とでも説明されれば、

「なにー、ソウダッタノカー！！Σ(￣0￣；/」

と、環境さえ変えてしまえばすぐにでも変わるのだ、

という期待に心躍る思いがすることでしょう。

実のところ、

「1年生になれば友達100人できるかなあ～？」という思いも、

「あの世では私も高級霊になれるかなあ～？」という思いも、

変化を期待するという点で、**どちらも本質的に同類**なのです。

(完)

//=====//

Web サイト：

心を力学する ー原理・原則に基づく生き方を考えるー

著者：

時無 和考(Tokinashi Kazutaka)